

最新のサイバーナイフ治療の現状について

〜短期間ででの痛みのない治療を目指す〜

今回は副院長 脳神経外科専門医 西崎統医師に
「最新のサイバーナイフ治療の現状」について伺いました。



▲西崎統医師

皆さん、万が一病気になるたしたら、入院に長い期間かかるか短期間で済むか、治療に疼痛を伴うか痛くないか、どちらを望みますか？

やはり、治療は短期間で痛くない方がよいと答える人が多いと思います。そうした治療を目指

すのが「四国で唯一」当院に導入されていますサイバーナイフです。

サイバーナイフは患部に集中的に放射線を照射し治療する「切らない治療」ができる最新の放射線治療装置です。現在脳神経外科でも頭痛や麻痺症状などで受診されたり、検査や他の疾患の精査で偶然に脳腫瘍や頭頸部腫瘍、脊椎椎髓腫瘍、脳動脈瘤奇形などが発見された場合、「できるだけ切らない」で治療するためにサイバーナイフ

治療が選択されたりします。また最近の報告では、病変が危険な部位にあるが手術が必要な時、手術前にサイバーナイフ治療を行い病変を縮小させたり腫瘍血管を減らしたりし、できるだけ安全に摘出しやすい状態で手術を行えることも可能です。

さらには、手術後に摘出しきれなかった部位にサイバーナイフ治療を追加する。低侵襲治療が定着してきています。

今まで当院では9000件以上のサイバーナイフ治療を経験をしています。治療期間は1日〜1週間程度で、治療には痛みは伴わないため3〜

102歳の患者さんに治療を行い、病変の種類や大きさにもよりますが90%以上の制御率を認めています。

ぜひ、病気が見つかったとしてもあきらめずに、主治医と相談の上、当院サイバーナイフセンターへ御相談ください。

社会福祉法人 済生会今治病院
今治市喜田村7丁目1番6号
<https://www.imabari.saiseikai.or.jp>
0898-47-2500

